

令和2年度 王寺町の決算

一般会計は、歳入（収入）が138億2,705万9千円、歳出（支出）が134億5,216万4千円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、3億2,148万9千円の黒字決算となりました。

特に新型コロナウイルス感染症対策として、国の施策である一人当たり10万円の「特別定額給付金」の給付のほか、国や県の補助金を利用した「地域振興券」など地域経済や住民生活を支援するため、地域の実情に即してきめ細やかに事業を実施しました。

圖出納室（内線 153）

▶ 特別会計

	国民健康保険	後期高齢者医療	下水道事業	介護保険 (介護保険事業)	介護保険 (介護サービス事業)
歳入	22億2,723万1千円	4億295万7千円	8億4,399万3千円	19億5,819万5千円	520万6千円
歳出	22億2,576万4千円	4億250万2千円	8億2,293万5千円	19億1,895万1千円	477万3千円

▶ 水道事業会計

〔王寺町の水道事業は、皆さんがお支払いする水道料金によって運営する『独立採算制』を採っています〕

	収益的収支…①	資本的収支…②
収入	6億4,037万9千円	7,600万2千円
支出	8億27万7千円	2億3,198万9千円

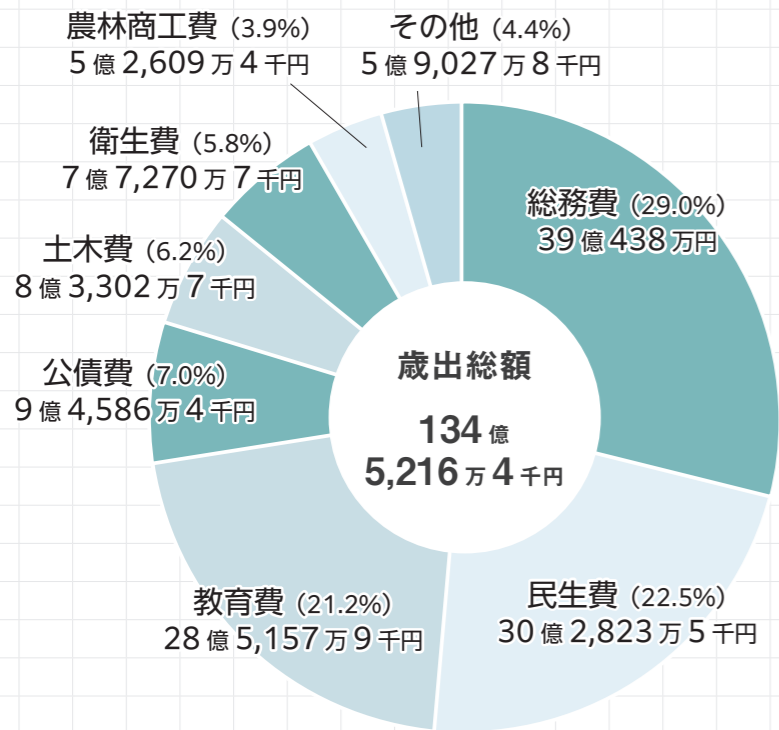
水道の令和2年度業務状況

（給水戸数、給水人口は令和3年3月31日現在）

▶ 給水戸数	10,581戸	※有収水量は、料金の対象となった水量のことで、町民1人1日あたり平均0.28m ³ を使用したこととなります。
▶ 給水人口	24,107人	
▶ 有収水量※	2,421,620m ³	
▶ 1日平均有収水量	6,635m ³	

①水道事業等の経営活動により発生する収入（水道料金等）と、支出（県水受水費等）②施設の建設、改良などに関する収入と支出

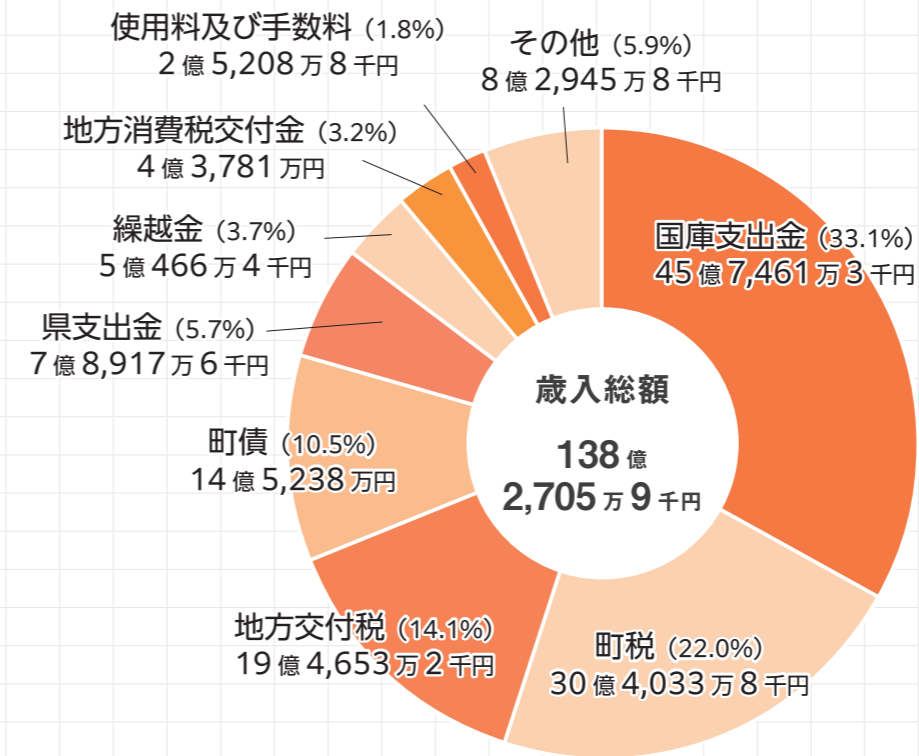
一般会計の歳出（支出）



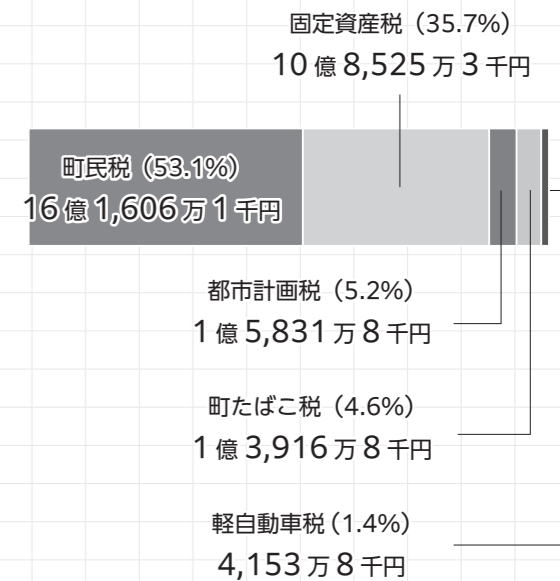
新型コロナウイルス対策の主な内容

総務費	●特別定額給付金事業 / 24億3,106万円
民生費	●75歳以上へのマスク配布 / 1,086万円 ●新生児への特別定額給付金 / 1,710万円 ●ひとり親家庭等臨時給付金 / 579万円
教育費	●遠隔・オンライン学習の環境整備、GIGAスクール構想への支援 / 1億1,867万円 ●配膳を伴わない簡易な給食の無償提供 / 2,506万円 ●学校での感染症対策 / 1,532万円 ●図書カード配布（3歳～中学生） / 848万円 ●電子図書館の開設 / 572万円
衛生費	●水道料金（基本料金）の減免 / 3,946万円 ●PCR検査センター運営（北葛城郡4町、香芝市、葛城市の合同） / 152万円
農林商工費	●地域振興券事業 2億5,928万円 ●プレミアム回数券事業 / 1,401万円
消防費	●避難所における感染拡大防止対策 / 1,157万円

一般会計の歳入（収入）



町税の内訳



令和2年度の主な事業の成果

住民に開かれ自立するまちづくり

●町の地方自治および町政に関する最高規範となる「王寺町まちづくり基本条例」が昨年12月に制定され、本年4月から施行しました。この条例を基本ルールに、「町民」「議会」「行政」の協働によるまちづくりを進めます。

●「議会のインターネット中継」を開始しました。本会議の様子が生放送や録画で視聴できます。

快適で暮らしやすいまちづくり

●「王寺東公園」をリニューアルしました。大木化していた樹木を伐採し、シンボリックな公園となるよう公園中央にシェードセイル（天幕）を設置し人工芝を敷いたことで、明るく広いオープンスペースを確保しました。

●バス利用者の待合環境の向上を目的に、「白瓜」と「王寺本町四丁目」の王寺駅方面行きバス停に上屋を設置しました。

安全で安心して暮らせるまちづくり

●あらゆる災害に対応できるよう「王寺町地域防災計画」を見直しました。計画に沿って、事業を具体化していきます。

●葛下川の溢水防止の応急的な対策として、土嚢をJR和歌山線鉄橋から出合橋までの区間に約2万個設置しました。

健やかに暮らせるまちづくり

●「第2期王寺町地域福祉計画及び地域福祉活動計画」「第8期王寺町介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」をそれぞれ策定しました。計画に基づき事業を推進します。

人を育みみんなが学べるまちづくり

●町で初めての民間による小規模保育園が王寺駅北側のリーベル西館にオープンしました。今後も待機児童を発生させないよう、町内の私立保育所等と連携し、仕事と子育ての両立を支援します。

●町立図書館のリニューアルを行いました。子どもが本と触れ合う機会を増やすため、児童書コーナー拡充のほか、新たに授乳室を設置。また、図書返却の利便性を高めるため、JR王寺駅と畠田駅の改札口付近にブックポストを設置しました。

活力とにぎわいのあるまちづくり

●平成30年の町宿泊施設誘致事業の取組から2年。ホテル「東横INN奈良王寺駅南口」が昨年8月にオープンし、王寺駅を起点とする宿泊滞在型観光を推進する準備が整いました。

●明神山が「葛城修験」―里人とともに守り伝える修験道はじまりの地―の構成文化財として、日本遺産に認定されました。山頂からの歴史的眺望を紹介するため、360度VR（バーチャル・リアリティ）動画を制作。町内外から多くのアクセスがありました。